



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月7日

上場会社名 日油株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4403 URL <http://www.nof.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮道 建臣  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 石垣 良一 TEL 03-5424-6600  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 2019年12月2日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	86,830	△3.6	12,897	△1.5	13,638	△3.6	9,543	△4.9
2019年3月期第2四半期	90,104	7.8	13,099	16.4	14,148	16.3	10,030	17.9

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 6,747百万円 (△42.3%) 2019年3月期第2四半期 11,685百万円 (3.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	113.40	—
2019年3月期第2四半期	117.67	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	241,328	180,983	74.7
2019年3月期	244,533	178,285	72.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 180,180百万円 2019年3月期 177,494百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	32.00	—	46.00	78.00
2020年3月期	—	39.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	39.00	78.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	192,000	1.5	28,000	△1.6	29,500	△2.0	21,100	△4.2	250.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	84,841,376株	2019年3月期	84,841,376株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	725,401株	2019年3月期	671,490株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	84,154,210株	2019年3月期2Q	85,245,551株

(注) 当社は、当第2四半期連結会計期間より「株式給付信託（BBT）」を導入しており、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(追加情報) .....	8
(四半期連結損益計算書関係) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当上半期のわが国経済は、輸出が低調に推移する中で、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調が続きました。海外経済は堅調な米国と緩やかに回復している欧州に支えられたものの、中国経済の成長鈍化が鮮明となり、先行きが懸念される状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く事業環境は、米中貿易摩擦激化などの影響により、国内外の需要減少が懸念される状況にありました。

このような事業環境下、当社グループは、「さらなる飛躍」を目指し「革新的価値の創造と拡大」を基本方針として掲げ、2019年度を最終年度とする3ヵ年計画「2019中期経営計画」の課題であります「新製品・新市場の創出」「生産性の向上」「グループ経営の強化」「CSR活動の推進」を進めるとともに、高機能・高付加価値製品による新市場開拓と拡販ならびに生産コストの低減に努め、持続的成長に向けた経営努力を積み重ねてまいりました。

新製品・新市場の創出では、国内外における産官学連携の強化や新技術導入などを進め、研究テーマの拡充と新製品上市の加速に努めました。また、生産性向上では効率化投資を推進しております。

これらの結果、当上半期の売上高は、86,830百万円と前年同期比3.6%の減収となりました。営業利益は、12,897百万円と前年同期比1.5%の減益、経常利益は、13,638百万円と前年同期比3.6%の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、9,543百万円と前年同期比4.9%の減益となりました。

以下、各事業セグメントの概況についてご説明申し上げます。

## ①機能化学品事業

脂肪酸誘導体は、アジアにおける環境エネルギー関連の需要が堅調に推移し、売上高は増加しました。

界面活性剤は、トイレットリー関連の需要が低調に推移し、売上高は減少しました。

エチレンオキサイド・プロピレンオキサイド誘導体は、合成樹脂・樹脂加工向けの需要が低調に推移し、売上高は減少しました。

有機過酸化物は、国内およびアジアでの需要が低調に推移し、売上高は減少しました。

ディスプレイ材料は、中小型液晶パネル関連の出荷が減少し、売上高は減少しました。

特殊防錆処理剤は、欧州での自動車関連の需要が低調に推移し、売上高は減少しました。

これらの結果、機能化学品事業の売上高は、60,636百万円（前年同期比4.5%減）、営業利益は、9,906百万円（前年同期比6.2%減）となりました。

## ②ライフサイエンス事業

食用加工油脂は、製菓・製パン用機能性油脂の需要が底堅く、売上高は前年同期並みとなりました。

機能食品関連製品は、売上高は減少しました。

生体適合性素材は、MPC（2-メタクリロイルオキシエチルホスホリルコリン）関連製品のアイケア向けの出荷が底堅く、売上高は前年同期並みとなりました。

DDS（ドラッグ・デリバリー・システム：薬物送達システム）医薬用製剤原料は、欧米への出荷が増え、売上高は増加しました。

これらの結果、ライフサイエンス事業の売上高は、14,798百万円（前年同期比7.5%増）、営業利益は、3,626百万円（前年同期比25.1%増）となりました。

## ③化薬事業

産業用爆薬類は、売上高は減少しました。

宇宙関連製品は、ロケット向け製品の出荷が底堅く、売上高は前年同期並みとなりました。

防衛関連製品は、売上高は減少しました。

機能製品は、売上高は前年同期並みとなりました。

これらの結果、化薬事業の売上高は、10,677百万円（前年同期比11.3%減）、営業損失は、270百万円となりました。

## ④その他の事業

その他の事業は、運送事業および不動産事業から構成されております。その売上高は、718百万円（前年同期比13.9%減）、営業利益は、118百万円（前年同期比15.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末の総資産は、前期末に比べ3,204百万円減少し、241,328百万円となりました。

資産の増減の主な内容は、現金及び預金の増加6,956百万円、棚卸資産の増加3,830百万円、売上債権の減少12,770百万円、投資有価証券の四半期末時価評価等による減少3,098百万円等であります。

負債は、前期末に比べ5,903百万円減少し、60,345百万円となりました。負債の増減の主な内容は、買入債務の減少2,245百万円、有利子負債の減少119百万円、法人税等の納付による未払法人税等の減少905百万円等であります。

純資産は、前期末に比べ2,698百万円増加し、180,983百万円となりました。純資産の増減の主な内容は、親会社株主に帰属する四半期純利益9,543百万円、その他有価証券評価差額金の減少2,147百万円および退職給付に係る調整累計額の増加34百万円、剰余金の配当による減少3,871百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当初予想(2019年5月9日発表)に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	40,767	47,724
受取手形及び売掛金	45,600	32,507
電子記録債権	2,401	2,723
商品及び製品	21,591	22,473
仕掛品	3,528	6,227
原材料及び貯蔵品	11,079	11,329
その他	2,422	2,615
貸倒引当金	△223	△240
流動資産合計	127,168	125,360
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	22,555	23,397
土地	20,340	20,314
その他(純額)	14,800	15,679
有形固定資産合計	57,695	59,392
無形固定資産		
その他	1,154	1,106
無形固定資産合計	1,154	1,106
投資その他の資産		
投資有価証券	53,576	50,477
退職給付に係る資産	2,066	2,107
その他	2,934	2,947
貸倒引当金	△63	△63
投資その他の資産合計	58,514	55,469
固定資産合計	117,364	115,968
資産合計	244,533	241,328
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,727	17,373
電子記録債務	1,104	1,213
短期借入金	1,128	1,044
1年内返済予定の長期借入金	0	0
未払法人税等	4,792	3,886
賞与引当金	3,311	3,246
その他	12,044	10,135
流動負債合計	42,108	36,899
固定負債		
長期借入金	8,061	8,058
退職給付に係る負債	4,695	4,723
その他	11,382	10,664
固定負債合計	24,139	23,445
負債合計	66,248	60,345

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,742	17,742
資本剰余金	15,115	15,115
利益剰余金	122,657	128,329
自己株式	△2,145	△2,329
株主資本合計	153,369	158,856
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,224	23,076
為替換算調整勘定	△423	△1,111
退職給付に係る調整累計額	△675	△641
その他の包括利益累計額合計	24,125	21,324
非支配株主持分	790	802
純資産合計	178,285	180,983
負債純資産合計	244,533	241,328

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	90,104	86,830
売上原価	61,112	58,052
売上総利益	28,992	28,778
販売費及び一般管理費	15,892	15,880
営業利益	13,099	12,897
営業外収益		
受取利息	53	65
受取配当金	653	659
為替差益	176	—
その他	354	409
営業外収益合計	1,237	1,135
営業外費用		
支払利息	36	35
不動産賃貸費用	51	39
固定資産撤去費用	42	66
為替差損	—	187
その他	57	64
営業外費用合計	188	394
経常利益	14,148	13,638
特別利益		
固定資産売却益	0	56
投資有価証券売却益	437	—
受取保険金	—	※1 178
特別利益合計	437	235
特別損失		
災害による損失	※2 273	—
固定資産除却損	12	13
その他	1	0
特別損失合計	287	14
税金等調整前四半期純利益	14,299	13,860
法人税等	4,246	4,305
四半期純利益	10,052	9,554
非支配株主に帰属する四半期純利益	21	11
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,030	9,543



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	10,052	9,554
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,206	△2,148
為替換算調整勘定	△766	△693
退職給付に係る調整額	192	34
その他の包括利益合計	1,632	△2,806
四半期包括利益	11,685	6,747
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,666	6,742
非支配株主に係る四半期包括利益	18	5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、主として当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用して計算した金額を計上しております。

(追加情報)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 受取保険金

前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

受取保険金は、2018年に発生した台風による被害に係る保険金であります。

※2 災害による損失

前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

災害による損失は、2018年に発生した台風により被災した設備等の復旧費用258百万円、棚卸資産の損害15百万円であります。

当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	機能化学 品事業	ライフサ イエンス 事業	化薬事業	計				
売上高								
(1)外部顧客への売上高	63,462	13,767	12,041	89,270	834	90,104	—	90,104
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	601	1,471	7	2,080	3,906	5,986	△5,986	—
計	64,063	15,238	12,048	91,350	4,740	96,091	△5,986	90,104
セグメント利益又は 損失(△)	10,556	2,899	△44	13,412	140	13,552	△453	13,099

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送、不動産販売および管理業務等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△453百万円には、セグメント間取引消去134百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△587百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	機能化学 品事業	ライフサ イエンス 事業	化薬事業	計				
売上高								
(1)外部顧客への売上高	60,636	14,798	10,677	86,112	718	86,830	—	86,830
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	558	906	7	1,473	4,047	5,520	△5,520	—
計	61,195	15,705	10,685	87,586	4,765	92,351	△5,520	86,830
セグメント利益又は 損失(△)	9,906	3,626	△270	13,262	118	13,381	△483	12,897

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送、不動産販売および管理業務等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△483百万円には、セグメント間取引消去233百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△717百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。